（様式　５－２）　　　地域重点施策推進事業事後評価調書（令和元年度実施分）　　　地域振興局名：　鹿角地域振興局

（地域施策推進事業）

部　名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費（円）	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事　業対象者	事業決定月日（部局長会議等）及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	沓澤琢也、藤田悠佑、斎藤里菜	0186-22-0457	鹿角広域観光推進会議事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	鹿角市、小坂町と連携し、隣県や仙台圏・首都圏などを対象とした広域観光誘客、管内受入態勢の整備のほか、教育旅行誘致などに取り組み、地域の観光の活性化を図る。	2,815,657	負担金	①広域観光連携事業 ・岩手県と連携した春と秋の観光キャンペーン 　春　4月15日～5月31日 　秋　9月21日～11月4日 ・隣県・首都圏での誘客PR ②教育旅行誘致促進事業 　県外（北海道、関東）の中学校、旅行代理店に対する誘致活動を実施 ③受入態勢整備事業 ・世界に届け！鹿角の魅力発信事業 　季節に応じた旬のテーマ動画を作成し、発信（5月～2月） ・翻訳サービス 　観光事業等に対し、案内表記等の英語・中国語への翻訳サービスを実施。	鹿角広域観光推進会議（県、鹿角市、小坂町）	観光客、教育旅行関係者、旅行事業者	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・岩手県や市町と連携することで、広域的な観光PRを実施することができた。 ・地域一体で、鹿角地域における教育旅行の具体的な提案などを行うことができた。 ・翻訳結果を管内関係機関・団体で共有することにより、インバウンド受入態勢の整備を図ることができた。	・広域観光連携を推進するための、より効率的で有効な観光PRを検討・展開する。 ・教育旅行は入込の中心である北海道以外の地域への売り込みを検討する。 ・インバウンド受入に向けた地域の課題を共有し、地域が一体となって受入態勢の整備に取り組む。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	沓澤琢也	0186-22-0457	まぼろし再発見！ドラゴンアイと八郎太郎伝説めぐり 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	八幡平ドラゴンアイを核に、十和田ホテルや明治百年通りなど幻となった東京オリンピックに関連する地域の観光素材を発信することにより、十和田八幡平への誘客を図る。	224,640	直営	出版メディアを招聘し、モニターツアーを実施。取材後、各媒体から情報発信を行った。 取材日　6月3日～4日 参加　　2社	県	観光客等	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・招聘した事業者の媒体を通じ、鹿角地域の魅力を幅広く発信することができた。	・多様な媒体を活用し、ドラゴンアイを核とした観光PRを展開し、八幡平から本県側への周遊拡大を目指す。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	藤田悠佑	0186-22-0457	十和田湖周辺観光振興事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	十和田湖に来訪・滞在する国内外からの観光客に、西湖畔エリアにも足を運んでもらうよう促すため、西湖畔エリアを写真や動画で紹介するウェブページを多言語で作成し、情報発信を行う。	619,575	委託	夏、秋、冬の3回にわたり、十和田湖西湖畔の現地取材による動画を作成し、3カ国語（日・英・中）により、情報発信した。 取材日　7月9日、10月21日～22日、2月17日～18日 内容　遊歩道、グルメ、アクティビティ、温泉、宿泊施設	県、トラベルデザイン株式会社	観光客等	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・グルメやアクティビティなど十和田湖西湖畔の季節ごとのコンテンツを掲載することにより、新たな魅力を発信することができた。	・十和田湖観光のメインターゲットとなるドライブ客やインバウンド向けに、必要かつ効果的な情報発信及び受入態勢整備に引き続き取り組む。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	沓澤琢也	0186-22-0457	鹿角・食と観光イベントin函館FT事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	津軽海峡フェリーが主催するイベントに参加し、函館周辺住民等を対象とした観光・物産PRを実施し、誘客を図る。	58,460	直営	名称　秋のフードマーケットin津軽海峡フェリー 期日　10月6日 会場　津軽海峡フェリー函館ターミナル 来場者約1,900人 内容　観光・特産品PR、紅葉と温泉キャンペーンPR	県	観光客等	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・鹿角地域の観光や特産品などの魅力について、函館近郊の住民にPRすることができた。	・引き続き、多方面のイベントへ参加するなどして、県外の方々に対し、鹿角地域の観光・特産品のPRに取り組む。

（様式　５－２）　　地域重点施策推進事業事後評価調書（令和元年度実施分）　　地域振興局名:　鹿角地域振興局

（地域施策推進事業）

部　名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費（円）	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事　業 対象者	事業決定月日（部局長会議等）及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	小峰友和	0186-22-0457	鹿角の若者地元定着プロジェクト 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	社会減の抑制に向けた人材確保及び鹿角を支える人材育成の取組として、中学生には学校別にキャリア教育と連動し、高校生には管内高校一同に企業説明会を実施し、地元企業の理解を深め地元就職への意識醸成を図る。さらに、保護者向けには就職活動の現状やポイント・保護者役割について、企業向けには若者獲得への採用方法や職場定着に向けた理解を深める。	290,959	直営	①中学生向け企業説明会 ・小坂中…参加者（生徒）88名、（企業）11事業所 ・十和田中…参加者（生徒）217名、企業16事業所 ②高校2年生と地元企業との意見交換会 参加者（生徒）225名（企業）27事業所 ③保護者向け就活サポートセミナー 開催日　7月5日 参加者　19名 ④企業向け若年職員確保セミナー 開催日　5月20日 参加者　17名	県、ハローワーク、市、町、商工会	管内中学生及び高校生、管内高校生保護者、管内企業・事業所	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・中学生・高校生に対する企業説明会等を通じ、地元企業等に対する理解を深めることにより、地元就職への意識醸成が図られた。 ・保護者に対する適切な子どもへの関わり方を啓発することにより、進路選択における適切な対応について、周知することができた。 ・企業における職場定着・早期離職防止に向けた問題解決の取組手法の普及が図られた。	・管内企業・事業所では、深刻な人手不足の状況が続いていることから、行政及び経済団体等の協力も得ながら、人材確保、人材育成の取組を継続する。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	佐藤幸生	0186-22-0457	“秋田のJOMON”世界文化遺産登録推進PR事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	大湯環状列石を含む、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録に向け、PR活動を展開し、機運の盛り上げを図る。	238,220	直営	①世界文化遺産登録推進シンポジウム 開催日　11月17日 参加者　250名 ②“秋田のJOMON”PR事業 パネル展の実施 場所　大館能代空港、秋田駅東西連絡自由通路ぽぽろーど	県、鹿角市教育委員会	地域住民、観光客等	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・遺跡の価値を認識してもらうことにより、登録に向けた機運の醸成を図ることができた。	・2021年の登録に向け、関係機関との連携のもと、更なるPRに取り組む。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	中嶋健太	0186-22-0457	スポーツによる地域活性化事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	アスリートによるトークショーを開催し、「スキーと駅伝のまち」鹿角市の一層の活性化を図る。	104,114	直営	25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！鹿角大会記念トークショーの開催 開催日　10月5日 会場　道の駅おおゆ特設ステージ 講師　浅利純子氏、松宮隆行氏、高橋健一氏 参加者　約100名	県	駅伝競技選手、関係者、地域住民	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・駅伝関係者や地域住民等に対して鹿角市のスポーツ環境などについてアピールできた。 ・県内で陸上競技等に取り組む方の意識啓発につながった。	・管内のスポーツ関係団体等と連携し、スポーツによる地域活性化の取組を支援する。

（様式　５－２）　　　地域重点施策推進事業事後評価調書（令和元年度実施分）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　地域振興局名：　鹿角地域振興局

（地域施策推進事業）

部　名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費（円）	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事　業 対象者	事業決定月日（部局長会議等）及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	藤田悠佑	0186-22-0457	小坂町「明治百年通りにぎわい創りプロジェクト」フォローアップ事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	明治百年通りの入込客数が伸び悩んでいることから、イベント開催や校外学習誘致により、誘客につなげる。	223,350	直営	①出張！小坂鉄道レールパークの開催 開催日　6月22日～23日 会場　ヒロロ（弘前市） 開催日　7月25日 会場　盛岡車両センター（盛岡市） 内容（共通） 鉄道備品展示、缶バッジ配布、入園割引券配布、観光PR ②隣県からの校外学習誘致 訪問実施　7月 訪問先　 青森県・岩手県の中学校（15校）・高等学校（3校）	県	観光客、青森県・岩手県校外学習関係者	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・弘前市、盛岡市周辺の子育て世帯に対し、小坂鉄道レールパークの魅力をPRすることができた。 ・隣県の中学・高校に、校外学習素材としての明治百年通りの魅力をPRすることができた。	・鹿角地域の観光PRの一環として、明治百年通りのPRに取り組む。 ・ターゲットを明確にした誘致キャラバンを展開し、校外学習誘致に取り組む。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	藤田悠佑	0186-22-0457	鹿角地域チャレンジマルシェ事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	「あきたファン感謝ナイト」を活用し、鹿角地域の魅力を伝えることを目的とする。	84,222	直営	あきたファン感謝ナイト 開催日　1月31日 場所　 あきた美彩館 内容　鹿角地域ならではの料理及び酒の提供、観光等PR 参加者　49名	県	首都圏在住者、観光客	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・アンケート結果からみると、参加者の満足度は高く、首都圏在住の方々に対し、鹿角地域の食材及び観光PRをすることができた。	・様々なイベント等を活用し、首都圏において、鹿角地域の食材、観光PRに取り組む。
総務企画部	鈴木　仁	地域企画課	企画・十和田八幡平観光班	佐藤幸生	0186-22-0457	ヤマブドウ交配種の「日本ワインの郷」づくり事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	小坂町特産の山ブドウ交配種による日本ワインの魅力をPRするとともに、ワインと地域資源を活用した観光振興を図ることを目的とする。	471,464	直営	①日本ワインと産業遺産で紡ぐワインツーリズムモニターツアー 実施日　9月7日～8日 参加者　15名 ②ヤマブドウ交配種の日本ワインと地域食材のマッチングセミナー 実施日　10月19日 参加者　20名	県、小坂まちづくり株式会社、創作厨房びすとろあむーる	観光客等	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・ヤマブドウ交配種の日本ワインを観光・宿泊施設や地域食材と組み合わせることにより、効果的なPRができた。	・鹿角地域を代表する特産品の一つとして、引き続き、PRに取り組む。
大館福祉環境部	小松真吾	企画福祉課	調整・障害者班	髙柳聡美	0186-52-3955	認知症対応力向上推進事業 平成31年4月1日～ 令和2年3月31日	市町村、地域包括支援センター、医療機関等において、認知症の人やその家族の相談に応じたり、認知症に関する取組を行う職員のフォローアップを行うことにより、地域の支援機関の有機的な連携及び効果的な援助につなげる。	130,244	直営	認知症施策担当者研修の実施 開催日：9月6日（金） 会場：鹿角市文化の杜交流館「コモッセ」 参加者：市町村、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等の職員37名 内容　認知症に関する先進的な取組等を紹介	県	認知症相談業務担当者	平成31年4月1日 令和2年5月20日	管内の認知症相談業務担当者が多数参加し、研修目的である認知症相談業務担当者のフォローアップを果たすことができた。 参加者アンケートからも「新しい情報を得ることができた」「いろいろなアイデアを知ることができた」等、研修内容を評価する声が多数寄せられた。	認知症に関する事業を3年間継続実施し、認知症に関する県民への理解促進など一定の効果を得たと考える。 今後は福祉環境部の通常業務として認知症対策を行っていく。

（様式　5－2）　　地域重点施策推進事業事後評価調書（令和元年度実施分）　　地域振興局名:　鹿角地域振興局

（地域施策推進事業）

部 名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費（円）	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事業対象者	事業決定月日（部局長会議等）及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
大館福祉環境部	小松真吾	健康・予防課	健康・予防班	武田翔子	0186-52-3952	本気で実践　減塩＆「野菜＋一皿」運動事業 平成31年4月1日～令和2年3月31日	関係機関と連携し、「野菜・果物もう1品運動」の具体的な方法を検討・実践すると共に、減塩及び野菜等摂取増について、尿中ナトカリ測定による効果的な指導方法の検討を進め、住民の食生活改善による生活習慣病の減少を図る。	234,676	直営	①全体会議の開催 開催日　2月18日 出席者　15名 ②ライフステージごとの取組 〇全体 ・WEBによる直売所情報等、月1回の定期更新 ・旬の野菜・果物カレンダー作成・配布（100部） 〇小児期、小中学生 「児童・保護者の食生活状況調査」の報告書及びリーフレットの作成・配布 〇高校生 ・食生活等実態調査の実施、報告書及びリーフレットの作成・配布 ・高校生作成の原画を元に、野菜・果物摂取啓発ポスター作成・配布（100部） ・出前講座の実施 開催日　11月6日 参加者　小坂高1年生37名 〇高齢期 ・出前講座の実施 開催日　11月9日 参加者　20名 ③キャンペーンの実施 ・街頭キャンペーン 1市1町で、啓発資材等を計150部配布 開催日　8月20日（鹿角市） 8月31日（小坂町） ・ｲﾍﾞﾝﾄを活用した啓発活動 開催日　9月15日（かづの元気フェスタ）11月16日（小坂町健康のつどい） ④尿中ナトカリ比測定と食事チェック票による食生活指導 ・一週間の測定 実施者　延べ52名 ・イベント単発の測定 実施者　延べ154名	県	地域住民	平成31年4月1日 令和2年5月20日	①減塩＆野菜・果物もう1品運動の実践 事業の実践の年であり、関係機関と連携しながら、ライフステージごとに様々な取組を行った。保健部門とはこれまでも協働で事業を実施してきたが、地元生産者や直売所、農林・教育部門などとの連携が進み、幅広い層に啓発することができた。 ②尿中ナトカリ比測定と食事チェック票による食生活指導、市町健康づくり事業やイベントを活用して実施し、参加者からも良い評価を受けることができた。	・令和2年度が事業の最終年度であり、「減塩＆野菜・果物もう1品」運動を、今後どのような形でつなげていくか、関係者と検討が必要である。 各種調査結果は、市町保健部門、保育所、学校などと共有し、住民に情報提供していくものとする。 尿中ナトカリ測定は、市町から要望があることから、継続して取り組む。令和元年度の実施者は、健康づくり事業の参加者など、元々の健康意識が高い人が多かった。生活習慣病の減少につなげるために、今後は、特定保健指導の対象者など、特に食生活改善の必要性が高い人をターゲットとした取組を検討していく。

（様式　５－２）　　　　地域重点施策推進事業事後評価調書（令和元年度実施分）

地域振興局名:　　鹿角地域振興局

（地域施策推進事業）

部　名	部長名	担当課	担当班名	担当者名	電話番号	事業名、事業期間	事業目的・必要性	事業費（円）	委託・負担金・直営	事業実施状況	事業実施主体	事　業対象者	事業決定月日（部局長会議等）及び評価確定日	事業の効果	今後の課題及び取組方向
農林部	長谷部　毅	農業振興普及課	担い手・経営班 果樹産地支援班	藤嶋智、中村佐之	0186-23-3683	鹿角ブランド農畜産物ステップアップ事業 平成31年4月1日～令和2年3月31日	「かづの北限の桃」のブランド力向上のため、生産拡大と高品質果実の安定生産に向けた技術力アップを図る。 「かづの牛」の消費拡大に向けたブランド化の推進とPR強化を図る。	360,858	直営	◇「かづの北限の桃」 ①技術力向上に向けた講習会の開催 ・摘蕾…4/12、人工受粉…4/24、摘果…6/11、新梢管理…7/11、視察研修…8/26、収穫指導…8/26、実績検討…12/12 ②連作障害対策 ・実証ほの設置…十和田錦木曲谷地 ・管理講習会…9/26 ◇「かづの牛」 ③ブランド化の推進とPR強化 ・かづの牛振興協議会総会…5/23 ・PR活動　十和田八幡平駅伝…8/7、花輪ばやし…8/19～20、元気フェスタ…9/15、畜産まつり…10/20、食の交流まつり（東京都葛飾区よつぎ小学校）…11/16、そばっこまつり…11/24　焼き肉ビジネスフェア…1/22～23	県、かづの牛振興協議会	モモ生産者、消費者	平成31年4月1日 令和2年5月20日	◇「かづの北限の桃」 ・生育状況に応じ適期に講習会を実施し、生産者へ情報提供することが出来た。大きな気象災害がなかったこともあり、JAかづのの販売額は1億3000万を超え、品質も非常に良かった。 ◇「かづの牛」 ・かづの牛振興協議会による販売促進活動を行った結果、県内外の幅広い層にPRができた。	◇「かづの北限の桃」 ・連作障害対策について、大苗を利用した苗は順調に生育しているが、定植後にどのような反応を示すか観察が必要である。今後、さらに果樹試験場との連携強化を図り対策の検討を行う。 ・令和元年度は、比較的、商品化率が高く高単価での販売となったが、一定量の加工品があることから、有効利用の方法を検討する必要がある。 ◇かづの牛 ・かづの牛振興協議会による販売促進活動を継続支援することで地域ブランド化を推進する。
農林部	長谷部　毅	農業振興普及課	担い手・経営班	三浦一将	0186-23-3683	鹿角地域におけるねぎ長期獲り作型の開発等事業 平成31年4月1日～令和2年3月31日	メガ団地のねぎ選別調製施設の有効利用に向け、鹿角地域の気象条件に合った作型を開発する。また、選別調製作業が簡便な「加工・業務用」契約取引に向けた販路開拓を目指す。	360,789	委託	①作型開発試験 ねぎの生育調査等を実施 実施期間：4月～2月　計20回 ②販路開拓 東京都太田市場で情報収集を実施 実施日：10月17日	県、農事組合法人末広ファーム	ねぎ生産者	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・鹿角地域に適した播種適期及び貯蔵性を検討できた。 ・他県のねぎ産地の情勢について情報収集を実施できた。	・管内のねぎ生産を推進するために、作型開発試験と販路開拓を継続する。
建設部	佐藤朋章	企画・建設課	企画監理班	齋藤直人	0186-23-2301	建設業担い手育成事業 平成31年4月1日～令和2年3月31日	建設業の将来的な担い手を育成することを目的に、工事現場の見学や建設機械の運転体験を通じ、建設業への理解を深める。	311,040	委託	①「小坂町アカシアまつり」の会場において、鹿角地域振興局建設部展示コーナーを展示し、建設機械運転体験を実施。 開催日　6月8日～9日 参加者　　約100名 ②「八幡平中学校職場体験プログラム」 開催日　7月25日 内容　道路改築の現場見学会、建設機械・ドローン操作体験を実施 参加者　3年生31名	県、八幡平建設業協会	地域住民、中学生	平成31年4月1日 令和2年5月20日	・建設業の人手不足の状況が続いている中で、建設業をPRすることで興味を持ってもらい、若手の入職を促す取組として実施し、若者の関心を高めることができた。	・将来的な人材確保に向け、建設業の魅力PRに引き続き取り組む。